



奈良教育大学 (奈良県)



教員養成大学として120年以上の歴史を持ち、研究だけでなく附属学校もあるので教育実践を具体的に学べる

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、日本の古都「平城京」の時代より伝統と文化の薫り高い奈良の地にあり、教員養成系の単科大学として、これまで多くの教員を世に送り出している。

1888年に奈良県立尋常師範学校として創設されて以来、2018年で130年の歴史を有している。1949年に奈良学芸大学が設置され、さらに1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。

その後、2006年からは全国に先駆けて、新任教員に求められる資質能力目標に基づく「教員養成のためのカリキュラムフレームワークの構築」に取組み、2008年には卓越した教員の養成を使命として「教職大学院の新設」など、教員養成教育の質の保証・向上に不断的努力を続けている。

<学生数> 1,326人

<教員数> 99人

<奈良県の特徴>

奈良県は、710年から794年（又は784年）の間、我が国古代の都があった所で世界遺産に登録された法隆寺をはじめ文化財の宝庫となっている。

また、京都や大阪にも大変近く日本の歴史ある数多くの文化に日常的に触れることができる。

○国際交流の実績

- ・留学生数：11ヶ国56名 平成29年10月現在
- ・教員生受入実績：11名（過去3年間）
- ・出身国：韓国・フィリピン・ミャンマー・ガーナ・ブータン・ブラジル・マラウイ

◇教員研修コースの概要

○コースの特色

- ・教員養成大学なので、研究だけではなく附属学校で教育実践を具体的に学ぶことができる。
- ・教員の専門分野は多岐にわたっており広範囲で受入可能。

○受入定員：7名

○研修コースの概要

・日本語予備教育が必要と判断した場合は、JASSO大阪日本語教育センターにおいて、日本語予備教育を6ヶ月間受けることになります。その後、奈良教育大学で専門教育を1年間受けることになります。日本語予備教育が不要と判断した場合は、奈良教育大学において、専門教育を1年6ヶ月受けることになります。

・日本語教育

期間：通年 形態：クラス授業

+ 日本語・・・週2回（計4時間）専任教員による授業

+ 日本文化・・・週1回（2時間）

研修生のタイプによっては英語で授業

・専門教育

受入担当教員の個別指導による。

（大学院の授業に参加し、レポートを書くなど）

・見学・地域交流等の参加型科目

4月 春季留学生懇談会（歓迎会）

学習旅行（三重県答志島）

10月 秋季留学生懇談会（歓迎会）

11月 学習旅行（滋賀県近江八幡市）

大学祭

地域交流（ホームステイもあり）

12月 附属校視察

3月 大相撲見学

◇修了生へのフォローアップ

メールを媒体として、教育関係の資料送付、（必要に応じて）指導教員によるコンサルテーション等を行う。

◇宿 舎

教員生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に入居する。

○宿舎数

- ・単身用：教員生の人数分は確保している。
- ・夫婦用：無し
- ・世帯用：無し

○宿舎費

寮費 約17,200円/月（但し、居室光熱費別途）

○宿舎設備・備品

ベッド（布団なし）、机、椅子、クローゼットなど。

Wi-Fi設備あり。

※キッチン、リビング、シャワー室、洗濯室は、共同です。キッチンには、共同の冷蔵庫があります。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間（主な所要時間）

大学：徒歩5～15分 バス停：徒歩5分 駅：バス10分

◇日本語予備教育期間中の宿舎

日本語予備教育を受ける場合、JASSO大阪日本語教育センターの宿舎費が約176,000円（6ヶ月分）必要となります。（但し、居室光熱費別途）インターネットを寮室で個人的に使いたい場合は、指定の業者と個人契約が必要です。（約2,000円/月）。通学時間は約徒歩2分です。

◇その他

来日後に、全員、国民健康保険（月額約2,500円）、個人損害賠償責任保険（年額約5,500円）に加入する必要があります。

また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。

◇問合せ先（担当部署）

奈良教育大学学生支援課留学生担当

住所 〒630-8528 奈良市高畑町

TEL +81-742-27-9148（直通）

FAX +81-742-27-9146

E-mail ryugaku@nara-edu.ac.jp

奈良教育大学国際交流留学センターホームページ

<http://cies.nara-edu.ac.jp/>

奈良教育大学ホームページ<http://www.nara-edu.ac.jp>